

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃげきだんみんげい 株式会社劇団民藝	団体ウェブサイトURL https://www.gekidanmingei.co.jp/	
代表者職・氏名	代表取締役・奈良岡乃里		
制作団体所在地	〒 215-0035	最寄り駅(バス停)	若葉台(京王線)
	神奈川県川崎市麻生区黒川649-1		
電話番号	044-987-7711		
ふりがな 公演団体名	げきだんみんげい 劇団民藝	団体ウェブサイトURL https://www.gekidanmingei.co.jp/	
代表者職・氏名	代表・樫山文枝		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1950年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	・代表取締役 奈良岡乃里 白川浩司 ・監査役 上本浩司 渡邊由紀子(外部)	団体構成員 個人143名 (劇団員123名、準劇団員ほか20名) 事務職員 16名(2024年9月現在) ※加入の条件 一般公募による	
事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	金本和明
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	淵本仁
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	kanemoto@gekidanmingei.co.jp		

制作団体沿革・ 主な受賞歴	1950年に滝沢修、宇野重吉、北林谷栄らによって劇団民藝として創立、59年に法人格を取得。榎山文枝、日色ともゑ、伊藤孝雄ら俳優約120名、技術スタッフ約20名と専属契約を結び、制作スタッフ16名が常勤している。年間約10作品の演劇公演(約160ステージ)、および所属俳優の映画・テレビ・アテレコ・舞台出演等のマネジメント業を行っている。 本年創立74周年を迎えたが、昨年末まで約500作品を上演、総ステージは24,000回におよぶ。現在、東京公演は年間4～5作品約60ステージ、地方公演は全国各地で3～5作品年間約100ステージ上演。東京公演は文化庁舞台芸術創造活動活性化事業の助成を受けている。 人と人との結びつき、社会との関わり合いを深くとらえた作品をとりあげ、アンサンブルを活かした現代における演劇創造をめざしている。 【受賞歴】 第37回朝日賞 第9回紀伊國屋演劇賞団体賞 第8回、14回、29回、47回毎日芸術賞 第4回湯浅芳子賞 第7回千田是也賞 第60回芸術祭大賞 第14回読売演劇大賞優秀作品賞 第15回読売演劇大賞優秀演出家賞 ほか多数		
学校等における 公演実績	昭和31年より学校公演の実績あり 累計4,000公演以上 【直近】 2011年度「アンネの日記」 全国12公演(自主公演) 2015年度「アンネの日記」 全国6公演(自主公演) 2018年度「光の国から僕らのために」 全国6公演(自主公演) 2024年度「真夜中の太陽」 全国公演5公演(R6文化庁巡回公演)		
特別支援学校等における公演実績	特になし		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=vBiKi_zjsCSA	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

劇団民藝

対象	小学生(低学年)	-	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	「真夜中の太陽」			
企画のねらい	本作の主要テーマは“「反戦と平和」を願い「生きていくこと」への肯定”です。すべての児童・生徒を応援する作品として、時代とともにアップデートさせながらこのテーマを強く届けたいと思い創作しました。 演出家、出演者による事前WSや主題歌『真夜中の太陽』の合唱指導などを通じて、児童・生徒の皆さんがより深く作品を楽しむことによって一過性ではない観劇体験をつくりたいと思います。また、上記事前プログラムに参加できない生徒には、3分程度の公演紹介動画を用意することにより、作品や鑑賞への興味を持つようなアプローチをおこないます。			
演目概要・演目選択理由	シンガーソングライター谷山浩子さんの名曲をモチーフに、劇作家の工藤千夏が自由に創作した幻想的な物語である本作は、癒されることのない戦争の痛みと、未来へつづく希望を描き、2013年に民藝版として上演しました。その後全国86ステージを巡演し世代を超えた共感とさわやかな感動を広げてきました。 この度、所奏さん(文学座)の演出によって、いまを生きる若い世代にむけた作品として誕生しました。また、より多くの児童・生徒と出会うために体育館・劇場双方で上演できるようにリクリエーション、幅広い観劇条件に対応できる作品になりました。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	終幕で歌われる劇中歌「真夜中の太陽」を出演者と一緒に舞台上に立って合唱します。 【なお合唱者はワークショップに参加した生徒たちの中から10人～20人前後選びます(舞台に合わせて)】 また、カーテンコールでは会場の生徒たちもあわせて全員で合唱します。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	～20人	
		鑑賞人数目安	20人～500人	
本公演演目	演目／真夜中の太陽			
原作/作曲 脚本 演出/振付	原案・音楽／谷山浩子 作／工藤千夏(青年団) 演出／所 奏(文学座) 公演時間 90分			
出演者	ハツエ役：中地美佐子、石村みか(ダブルキャスト) 先生役：野田香保里、橋本潤、小守航平 女学生役：加塩まり亜、日高里美、加來梨夏子、齊藤みのり、石川桃、井上晶 船津優舞、植野結衣、向井萌々香、手倉森恋歌 ※女学生役等は毎年新規オーディションによって決定			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	工藤千夏(作) 劇作家、演出家。青年団所属。渡辺源四郎商店ドラマターグ。高校演劇コンクールの審査などを歴任。 所 奏(演出) 劇作家、演出家。文学座所属。代表作に『青べか物語』(2017)『いずれおとらぬトカントン』(19) 中地美佐子(主演) 1992年劇団民藝入団。代表作に『終末の刻』(滝沢修演出)『蕨野考』(北林谷栄作、米倉斉加年演出)『熊楠の家』(丹野郁弓演出)『グレイクリスマス』(丹野郁弓演出)などがある。			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者： 15 名		運搬	積載量： 4 t
	スタッフ： 12 名			車 長： 12 m
	合 計： 27 名			台 数： 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		0		時間程度			
	到着		仕込み		上演		内休憩		撤去		退出	
	8:00		8:15～13:00		13:30～15:00		無し		15:00～16:20		16時30分	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。											
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月		7月		8月		9月					
	15日		15日		5日		0日					
	10月		11月		12月		1月					
	15日		15日		10日		0日					
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		75日				

体育館フロアに舞台を設置した状態。
 体育館が狭い場合は、体育館を横方向に設置する場合があります。
 体育館舞台上を使用する場合も同様に設置します。舞台設置に必要な面積約10m×8m



公演に係るビジュアルイメージ
 (舞台の規模や演出がわかる写真)

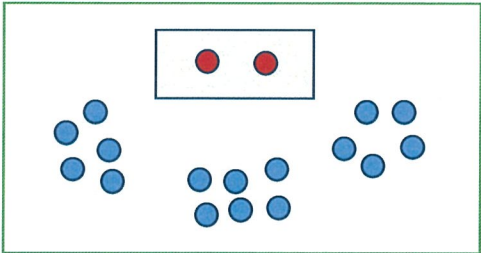
※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当あり	該当コンテンツ名	楽曲「真夜中の太陽」
	該当事項がある 場合	権利者名 谷山浩子		許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団民藝 】

ワークショップのねらい	演出家や俳優によるシアターゲームや合唱指導などを通じて、多様な表現方法の発見、習得を目指します。また、参加者同士の協働作業によって進められるWSは、他者への共感や思いやりを醸成しコミュニケーション能力の向上させることでしょう。事前WSに取り組むことで作品と長期間向き合い、一過性でない観劇体験が期待できます。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30人程度
ワークショップ実施形態及び内容	標準:約90分 第1部 ファシリテーター(演出家・所) 補助員俳優3名 ①WS構成説明、諸注意(約3分) ②お互いに自己紹介(約5分) ・なるべく大きな声を出してもらいます。 ③基礎的なシアターゲームの実施。(約30分) ・声を出したり動いたりしてもらい、あるいは呼びかけたり呼びかけに応じたり、遊びながら子どもたちの心と体のこわばりをほぐしリラックスしてもらいます。 ・参加者全員で取り組むプログラムとグループ分けしたプログラムをミックスさせながら、集中力を持続させるようにします。(学校によっては先生の参加もお願いします) 休憩<10分> 第2部 ファシリテーター(俳優) 補助員3名(演出家、俳優) ①説明、諸注意(約3分) ②カーテンコールで合唱する「真夜中の太陽」三部合唱を練習します。<35分> ・この劇のモチーフとなった谷山浩子の同曲と、劇中最後に歌われる俳優の合唱をまず聴き、歌詞やメロディの解釈をおこないます。 その際、児童・生徒の自由な意見を参加者で共有します。それから俳優によるピアノ伴奏で歌唱指導を行い、最終的に舞台上がり全員で合唱します。		
その他ワークショップに関する特記事項等	(図4)ワークショップの形態 ●児童生徒 ●実演者  <合唱指導コンテンツ> 「真夜中の太陽」合唱楽譜使用 谷山浩子CD(「真夜中の太陽」)		

別添	なし
本事業への応募理由 【公演団体名 劇団民藝】	
本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫	①本事業に対する取り組み姿勢 【本事業を通じて実現したいこと】 演劇創造と普及は私たち劇団の使命です。本事業のWSや鑑賞をつうじて、未来を担う児童・生徒の皆さんに人々の豊かな心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性の大切さを醸成したいと考えます。 【実施の工夫】 初めて演劇に出会う児童・生徒たちがより興味を持つように、WSの内容を年齢や学校規模に応じてアレンジします。参加者の一部、または全員の児童・生徒に本番の出演機会を提供します。また、なるべく近距離で鑑賞できるようアクティグエリアや客席の配置などにも配慮します。 ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 【学校との連絡調整について】 劇団民藝は年間約100～150ステージの地方公演をおこなっています。そのほとんどが依頼公演です。主催者は全国演劇鑑賞会や新聞社、公文協、教育委員会、学校など多岐にわたりますが、上演にあたって各地で講演会や学習会、ワークショップなどのプレ企画を多数実施しています。学校公演は現在まで約4,000ステージを経験していますが、創立74年の長く豊富なノウハウを活かしながら、本事業を実施する学校とも緊密なコミュニケーションをとっていきたいと考えています。 特に初めて本事業に参加される実施校のご担当者には、具体的なタイムスケジュールや資料などを早期に提供し、事業の全体像の共有に努めます。また劇団内に複数の事業担当者を配し、先生方の相談にいつでも対応できる環境を確保し、円滑な事業実施を実現します。 【対象児童・生徒に応じた工夫について】 実施校の状況や意向を確認し、WSの特別プログラム等を企画します。本番の舞台鑑賞が困難な児童・生徒には、収録映像の提供するなどすることで鑑賞体験を補います。